

# 逆流抑止マス

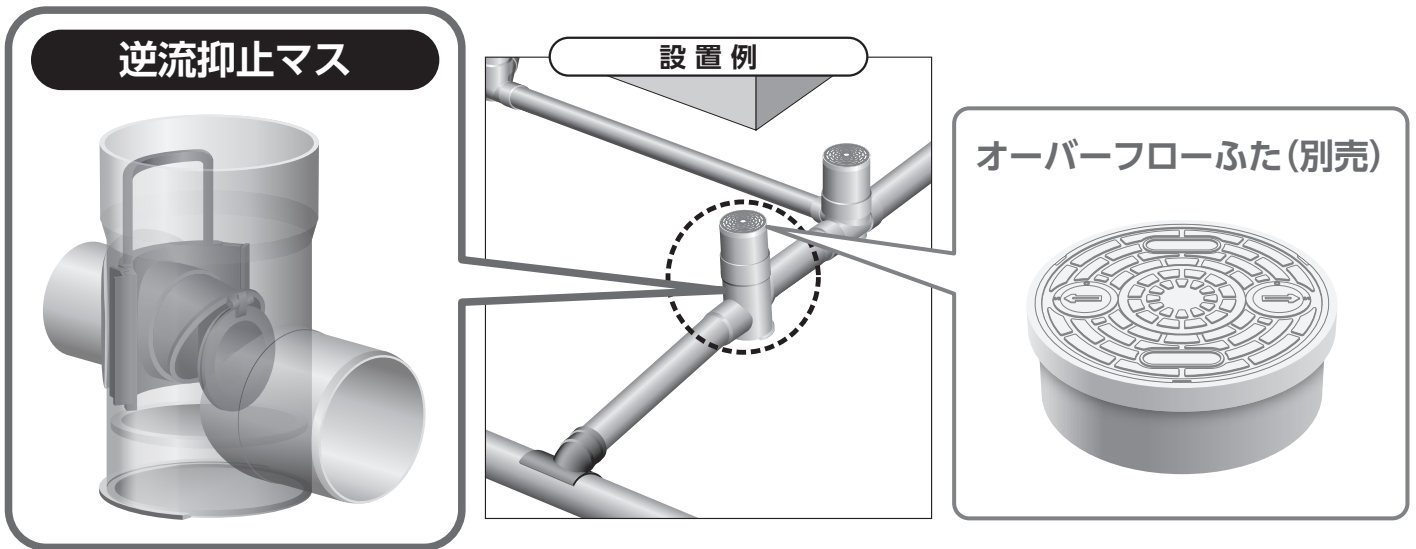
MG-GY S 100×100P-200 / 100×125P-200 / 100×150P-200 / 150×150P-300

●施工前に必ず取扱説明書をお読みください。

## 施工

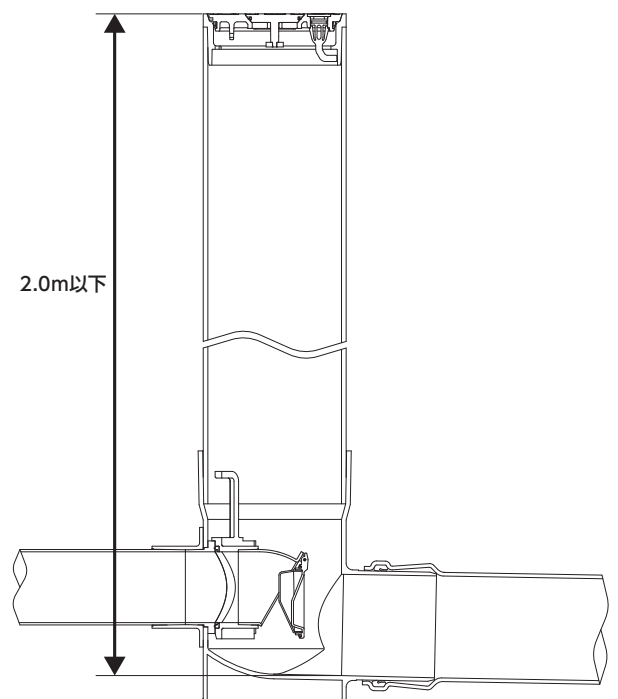
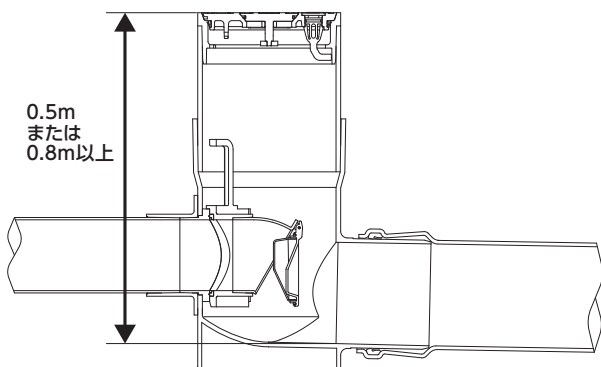
### ふたの仕様

ふたの飛散防止のため、別売の「オーバーフローふた」をご使用ください。



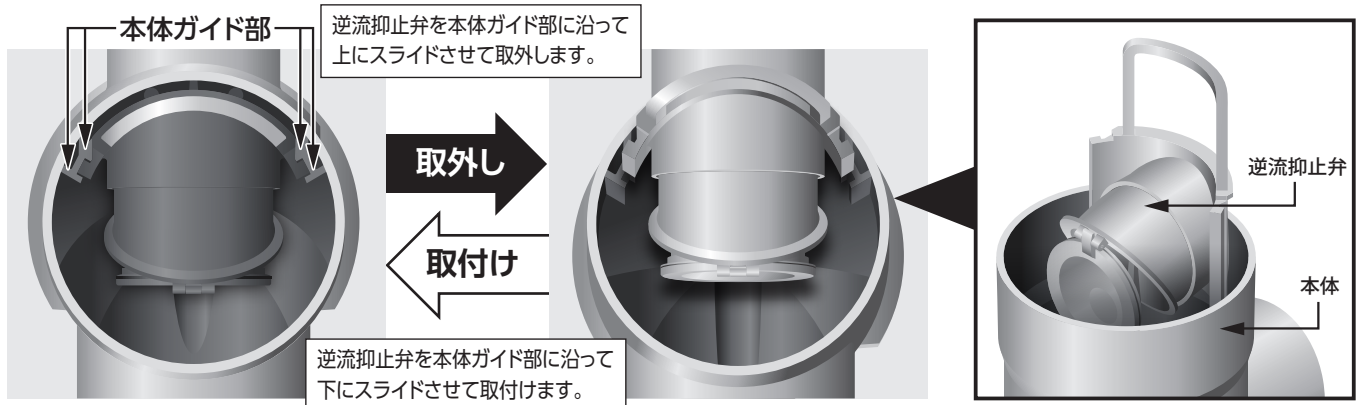
### マスの深さ対応可能範囲

逆流抑止弁の維持管理性を考慮し、マス径200は**0.5m**から**2.0m**まで、マス径300は**0.8m**から**2.0m**までとしてください。



# 維持管理

## 逆流抑止弁の脱着



弁体を奥まできっちりと押し込んでください。特に 150×150P-300 は音が鳴るまで押し込みが必要です。

## 逆流抑止弁の清掃

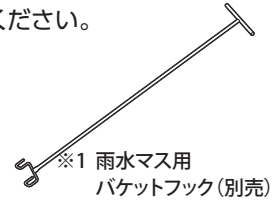
管路部と作動部を水洗いし、汚れを洗い流します。



水洗いにて落ちない汚れを、ブラシ等を用いてこすり洗います。特にシールゴム部は丁寧に清掃してください。



取手に手が届かない埋設深さの場合は、『雨水マス用バケットフック※1』を用意しております。ご利用ください。



### 注意事項

#### ◆設計上のご注意

- ・本製品は逆流の低減を目的とした製品です。逆流抑止弁は完全な止水性を有するものではありません。
- ・設計流量は半管までとしてください。流量過多の場合、逆流抑止弁の破損の原因となる恐れがあります。
- ・ふたの飛散防止のため、オーバーフローふたをご使用ください。

#### ◆輸送・保管上のご注意

- ・高所からの落下、放り投げなどによる過度の衝撃を加えないでください。
- ・屋内で保管してください。やむをえず屋外に保管する場合は、直射日光を避け、熱気のももらない方法によって保管を行ってください。

#### ◆施工上のご注意

- ・所定の勾配に合わせて、設置してください。
- ・維持管理を考慮しマス深さは、マス径 200 は 0.5m から 2m まで、マス径 300 は 0.8m から 2m までの範囲としてください。逆流抑止弁が脱着できなくなる恐れがあります。
- ・接着剤は、必ず清掃した管と受口の両面に薄く均一に塗布し、塗布後は速やかに接合してください。接合は所定の時間挿入力を保持し、接合後は、はみ出した接着剤をふき取ってください。
- ・アセトン、シンナー、クレオソート、殺虫剤、白あり駆除剤などマスの材質に悪影響を及ぼす物質を吹き付けたり、塗布しないでください。

#### ◆使用上のご注意

- ・排水管内の流れを維持するために、逆流抑止弁は定期的に清掃してください。
- ・逆流抑止弁の取付け後は、必ず正規の位置で装着されていることを確認してください。

施工後、この取扱説明書を施主様にお渡しください。



アロン化成株式会社

TEL (03) 3502-1449

管材事業部